

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「あいあい」長崎時津校		
○保護者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 家庭	(回答者数) 15 名
○従業者評価実施期間	2025年12月20日 ～ 2025年12月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達に合わせたオーダーメイドの個別療育	・定期的なアセスメントを行い、一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し、それに沿った支援の提供を行っています。	・今後も、お客様の課題や特性を理解し、ご家族のご要望や困り間にも定期的に共有、把握しながらお客様一人ひとりに合わせた支援提供を行っています。
2	保護者様との情報共有	・必ず保護者様へフィードバックする時間を確保しております。 その日の振り返り以外にも、ご家庭や学校での様子を教えて頂いたり困っていることをお話して頂いたりするなかで、情報の共有や今後の支援について確認することができていると感じています。	・来所する機会が少ない保護者様もいらっしゃるため L I N E を活用したり定期的に面談をする機会を作って情報の共有を行っています。
3	【児童発達支援】 毎週月曜日、小集団療育を行っている。 【放課後等デイサービス】 不登校のお子様もご利用いただいている。	【児童発達支援】 ・メインの個別療育と小集団活動を適宜組み合わせ支援を提供しています。 【放課後等デイサービス】 ・個別でのご利用のため、環境を整え負担のないご利用時間で活動に入りやすいよう工夫しています。	【児童発達支援】 ・事業所の弱みにも記載通り、週一回の時間枠のため枠を増やすこと等を検討しています。 【放課後等デイサービス】 ・必要に応じて学校との連携も行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の送迎を行っていない。	・当教室では、十分な支援時間、保護者様とのフィードバックのお時間をしっかりと確保するために、送迎サービスを行っておらず、保護者様に協力いただいております。	・送迎は行っておりませんが、できる限りご利用者様の希望された日にご利用ができるように日程の調整をさせていただいております。
2	小集団活動の枠が少ない。	【児童発達支援について】 ・現在、小集団活動の日程が毎週月曜日の15時～17時のみとなっております。週一回の開催のため、空き枠が少ない状況となっております。 【放課後等デイサービスについて】 ・個別支援がメインのため、小集団活動（イベント）が月に1回程度となっております。	【児童発達支援について】 ・個別支援がメインとなるため、個別療育と小集団活動を適宜組み合わせご利用いただけるようにしていきます。 ・小集団活動の枠を増やせるよう、検討してまいります。 【放課後等デイサービス】 ・引き続き月に1回程度は、イベントを行ったりグループ活動も取り入れたり、集団活動にもご参加していただけるよう検討してまいります。
3	・支援の提供時間が短い。	・お客様の集中力を考えて1時間（保護者様へのフィードバックの時間を含めて）という時間を設定しています。短い時間と感じられる方もいらっしゃるかと思いますがしっかりと1対1で関わる時間となるので、私共は「貴重な時間」と捉えています。	・児童発達支援の小集団活動や放課後等デイサービスのイベント等の際は、ゆっくと友達と関わりを持てるよう2時間の時間設定にしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「あいあい」長崎時津校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

16 家庭

回収数

15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2	1	0	一人ひとりのスペースが限られており狭く感じる。	法令を遵守したスペースを確保しておりますが、同時帯に4名以上ご利用されている場合はスペースが限られてしまう場合もございます。個別ブース等を活用しながら支援に支障が出ないよう、今後も職員で事前に活動スペースを確認してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	1	以前1時間の間に30分で先生が変わるということがあり、人数不足のためそうだったのではないかと思ったため。	アプローチの視点や方法を変えるという意味合いで支援員が変わる場合もございます。2026年1月現在、法定の人員に加え3名の指導員を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3	0	0		事業所が2階にあり、階段があるため手すりはないですが、転倒などがないよう注意を促しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2	0	0	バーテーションで区切ってあるが幼児でも簡単に倒れそうになるため少し心配に思う。	バーテーションの転倒がないように配置の仕方を検討し、注意を促してまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0	・先生が毎回変わるため引き継ぎが上手くされていないように感じる。 ・支援計画に記載してもらった机上課題や知育的な学習的な要素を支援に入れてくれる先生と玩具で自由に遊んでるように見える支援をされている先生がいるように感じる。	・今後も情報共有を行うことを徹底してまいります。 ・個別支援計画を基に日々の活動支援プログラムを立てることを基本としています。お子様のその日の状況もあり、事前に立てていたプログラムと活動が変わることもありますが、職員間でもう一度支援内容の確認を行ってまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0		
保護者へ	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	0	1		支援の特性上、このような機会は積極的に行っておりません。毎年行われる、時津町で放デイを提供している事業所が集まって開催されるレインボーフェスに参加しております。2026年2月14日に開催されますので、ぜひご参加ください。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	2		2025年度は5月に保護者会と研修会を行いました。今後も開催を検討していきたいと思いますので、その際はぜひご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	15	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	1		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	1	4	父母の会などもっとして欲しい。 保護者だけの交流があれば意見交換などできて、もっといいと思います。	2025年度は5月に保護者会と研修会を行いました。今後も開催を検討していきたいと思いますので、その際はぜひご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	3	0	1		ブログやインスタで活動やイベントの様子などを発信しています。 事業所評価については、公表後事業所内の掲示やHPにて保護者様に周知させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1	2		各マニュアルを策定し、定期的に訓練を行っています。契約時にお伝えさせていただいておりますが、今後掲示等でも周知を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	8		月に一度事業所内において防災訓練を行っております。周知が不十分であるため、今後ブログや掲示等でも周知を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	2		事業所内で怪我が起こった場合は保護者様に状況を説明し、対応を行っています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	いつも本人に合った支援をして頂きましてありがとうございます。1つ要望があるとするなら、言語の専門の先生が在籍されてたら、利用回数を増やしてでもお願いしたいです。信頼できる環境での支援を望んでいる為是非、あいあいさんで実現できたら親として、とても嬉しいですよ！	・現在、在籍している職員の専門職が保育士、教員、心理士となっており言語聴覚士が在籍しておりません。 引き続き、職員募集は行っています。 また、現職員もクラ・ゼミの言語についての研修に参加するなどして、言語面についてのアプローチができるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「あいあい」長崎時津校		2026年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しておりますが利用児さんが多い日もあるため、個別ブースを広いスペースをパーテーションで区切るなどして構造化を行っています。	パーテーションの転倒がないように、配置の仕方を検討し、注意を促していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		2026年1月現在、法定の人員に加え3名の指導員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		学習や落ち着いて活動をする個別スペース、体を動かす広いスペースと構造化しています。	入り口が階段になっています。手すりはついていますが、転倒などがないように注意を促しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		職員で分担して清掃、定期的に消毒を行い、清潔な空間の提供を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別ブースを活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に話し合いの機会を設け、より良い支援を検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度、保護者アンケートを実施し、改善に繋がっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼やMTG、管理者との1on1を実施し、意見交換をする時間を設け業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っておりませんが県の運営指導ならびに社内の内部監査を受け業務改善につなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所へ研修を依頼し、年間計画のもとで支援に関する職員研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で話し合いをして支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		フェイスシート、アセスメントシート、情報共有の機会を通してニーズや課題の検討を常に行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		事業所職員で検討を重ねて個別支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		本計画書に沿った支援を基本として支援の提供を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は、5領域の視点から支援項目を設定しています。「家族支援」「移行支援」は、日頃のお子様やご家族様の状況を把握することや困り感を共有して頂く中で様々な視点から分析し、関係機関と共有できるように努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用児さんにとっての課題や支援の方向性等を話し合っています。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その都度職員同士で振り返りなどを行い情報を共有し、固定化しないように努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援が中心ですが、毎週月曜日の小集団活動も行い適宜組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や合間のMTGで情報共有を行っています。	シフト制の勤務になるため、共有の抜けがないように徹底します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の様子や変わったこと、周知しなければならないことの情報共有を行っています。	シフト制の勤務になるため、共有の抜けがないように徹底します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を入力しています。 支援記録はモニタリングの資料として活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6カ月に1度モニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		指導員や児発管が参加し、事業所内でのお客様の状況や課題、対応方法などを具体的にお伝えし、共通理解を深めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様からのご希望があり、保育園や幼稚園との連携を行いました。相談員さんとは定期的に連携を行っています。関係機関との連携を図ることを心掛けています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関との情報共有と相互理解を心掛けています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		関係機関との連携を図るよう心掛けています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		支援の特性上、そのような機会は積極的に設けておりません。年に一度、時津町の放デイ・児童発達支援を提供している事業所が集まって行うレインボーフェスに参加しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバック時に、日ごろのお子様の状況や課題を共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		2025年度は5月に保護者会を行い、研修も行いました。	今後も開催できる場を設けていけるよう検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時やモニタリング時に、保護者様へ要望を伺っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		書面と口頭で説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜子育てサポートの相談援助を行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		2025年度は5月に保護者会を行い、研修も行いました。	今後も開催できる場を設けていけるよう検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適宜相談していただけるよう、体制を整えています。ご相談や申し入れがあった際には迅速な対応を心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNSを活用し、お知らせ等を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠できるキャビネットに個人情報を保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて対応できるよう、筆談の準備があります。また電話のほか、LINEなどのSMSでも連絡できる体制を整えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		定期的に外部の方向けに親子イベントを行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、スタッフに周知しています。また定期的に訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、備蓄を管理し必要な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシート作成時とアセスメント時に発作や服薬状況を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		フェイスシートでアレルギーについて確認しています。	イベント等の際には慎重に対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な対策と研修及び訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリとした場面に遭遇すると必ず作成し、大きな事故の発生や再発防止に向けて職員間で共有をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が法廷研修に参加し、併せて虐待防止委員会での事例検討も行うなど、虐待の防止を徹底しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し、了承を得た上で計画書に記載しています。	